
けいおんギャルゲなSS予告編

一二三みかる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

けいおんSSギャルゲなSS予告編

【Nコード】

N5355S

【作者名】

一二三みかる

【あらすじ】

けいおんSS予告編。

コンセプトは三文ギャルゲー

よってギャルゲーちつくな予告編。

主人公キャラが男でも気にしない人向け

（前書き）

【警告】

ネタと冗談を正しく理解出来る方のみお進み下さい。

それ以外の精神的に幼かったり、アメリカンやフレンチなジョークをお気に召さない方は即刻、月まで退避することをオススメします。
以上。

——
ねえ？

——
笑っているの？

——
それとも

——
泣いているの？

季節は春。

春は出逢いの季節であり、別れの季節でもある——

K - O N S T O R Y O F I F . . .
V o i c e l e s s M e m o r i e s

【予告編】

開かれた窓からは、風に運ばれた桜吹雪。
やわらかな陽射しに包まれた部屋。

その中央で、“彼”は旋律を紡いでいた。

一瞬、その哀しげなリズムが“彼”の持つ黒いギターから奏でられていたことに気付かずには私はただただ見惚れ、私の中の時が確かに止まった。止まっていた

——なんて綺麗なのか、と。

「ごめん、…もしかして見学？」

“彼”の声にふと我に返る。止まった時が動きだした。

カーテンは風にそよぎ、桜の花びらがゆっくりと舞い上がる。
そして——

「——ようこそ、軽音部へ」

唯「あんまりうまくないですね」

澪「うう…無理だ、私には無理だ」

律「諦めるな！ 諦めたらそこで終わりだぞ！」

紬「あらあら、うふふ」

『出来た妹だツツ！？』

はしやぎまわるアイツらを眺めていると、ふと先生は口を開いた。

「……早いものね。あれから半年なんて…」

さわ子先生の横顔を見ると、視線をアイツらに向けたままだった。

——半年。その言葉を聞くとどうしてもあの日のことを思い出す。あれから俺と先生は、ただひたすらに『彼の居た場所』を守ろうとしていた。

「先生のお陰です。少なくとも、俺はそう思っていますよ」

部員が一人となってしまった軽音部。

せめて新入生が入る春までは活動出来るようにしてくれたのは、先生の力添えあつてのことに変わりはない。

「そうとは限らないんじゃないかな？ 私よりも近くで、力になってくれた娘達がいたと思うけど」

「それは…」

——「先輩……はやく、はやく……！」

平沢が俺を呼ぶ。その隣では秋山が、田井中が、琴吹がにこやかに笑い合い、俺を待っているようだった。

「——気付けば、俺も“センパイ”になっていたんですね…」

「きっと、いいえ。絶対に彼も望んでる…寧ろ羨ましがってるんでしょうね？ あんなに可愛い後輩が一気に四人出来たんだし」

「あはははは！ 違うないや」

「ほら、いつまでも待てせてないで行ってあげなさい。センパイ」

“センパイ”——羨ましいだろ？

部員が四人も増えたんだ。みんな、可愛い女の子で。きっとあんたはそこを一番羨むんだろうな。

あんたの居場所は、今でも、俺とあんたが居たあの頃以上に輝いているかい？

こいつらとの“音楽”は、あんたにまで届いているかい？——
—あんたのくれたギターで、俺は俺の“音楽”を、ちゃんと奏でられているかい？

「……………“センパイ”」

そう小さく呟くと、気付かぬうちに涙が一筋、頬をつたっていった。

「簡単に…簡単に死ぬとか言うんじゃないッ！！ どんなにやりた
いことでも、もう届かない…出来ずに、終わってしまうことだって
あるんだ！ あるんだよ…だから…頼むから、死ぬとか、言わない
でくれよ…」

——少年は迷う。憧れと、気持ちと、現実の間を幾度となく。

——少女たちは葛藤す。燦る想いと関係という檻の中で。

漣「なあ律……………私はどうしたらいいんだ？ 胸が、苦しいんだ…
…」

唯「そんなの絶対悲し過ぎるッ！ 私ヤだよッ！！」

紬「アナタは満足ですかッ！？ これで満足なのですか！？ 傷つけたくなかったのは、二人なんかじゃなくて、先輩自身だったんじゃないんですかッッ！？」

律「……………じゃあな、遷——」

「田井中アアッ！！？」

もしもの世界。

もしもの選択。

一本の黒いギターが奏でる旋律は、甘く、切なく、そして——苦い。

恋は極力秘めるもの——その結末への選択肢は？

“声に出せない想いほど、辛いものはないから”

V o i c e l e s s M e m o r i e s

——純愛ルートその他に、

禁断の——

唯「先輩が、先輩が悪いんですよ……ほおら、私の気持ちも知らないで濡ちゃんやりっちゃうナンカに着いていっちゃうから……」

「ま、待て平沢ッ!？」

唯「気付いていたはずですよねエ? 先輩と同じギターにしたのも、“この性格”も、全部先輩の為だったんですよ? ……………なのに……………なのにッ!！」

「ッ!? や、め……く、平さ……ワ」

唯「ふふふふ、そうです。決めました。私たちは一つになるんですよ? ずーっとずーっと一緒ですよ? ……………ほら、憂、も、ね?」

「……………!？」

正解率1%!

戦慄の唯ヤンデレルート【警怨】収録。

K - O N S T O R Y O F I F . . .
V o i c e l e s s M e m o r i e s

唯「ただ、私だけがいればいい……………」

T O B E C O M I N G S O O N

K - O N S T O R Y O F . . .
V o i c e l e s s M e m o r i e s 2 n d S e a s o n

梓「先輩”：ありがとうございます。——私、
“先輩”に逢えて、本当によかったと思います…」

梓「だから——私の気持ち……………」

T O B E C O M I N G S O N . . . ?

（後書き）

あずにゃん幼なじみルートとか妄想しないでしてしまい申し訳ない

毎朝起こしにくるあずにゃん

照れながら料理するあずにゃん

照れながら「お兄ちゃん」と呼ぶあずにゃん

子供扱いすると怒るあずにゃん

あれ？ これ2ndシーズンのが楽しくないか俺？

主人公？の愛用のギター↓黒いレスポールカスタム。“センパイ”
の形見の品的なそんな感じ。

…まあ、“ブラックビューティー”に準えて澪を正ヒロインにして
乙女モード律と恋愛バトルしちまえとか考えてたらこうなった。深
く反省している。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5355s/>

けいおんギャルゲなSS予告編

2011年6月3日05時10分発行